



北極星



学校だより 7月号
令和7年6月30日

相模原市立大野北小学校

学校ホームページ <https://ohnokita-e.sagamihara.andteacher.jp>



最〇（こう）学年として

校長 孝坂 克則

もう1学期も残すところ、3週間となりました。6月は、2年生と4年生の遠足、5年生の若あゆでの宿泊体験学習など学年の絆を育てる行事があり、子どもたちも楽しむことができたと思います。私も5年生のキャンドルファイヤーを見てきましたが、事前にクラスで準備した出し物を楽しそうに行っている姿や、見たり一緒に参加したりする姿から子どもたちが互いを認め合い、繋がり合っている姿を見ることができうれしかったです。

そして、6月22日23日には、6年生が日光方面へ修学旅行に行ってきました。学年目標の「最〇学年（〇の中に「こう」を入れる）」から修学旅行のめあてを、子どもたちが話し合い「全力で学び、責任を持って、考動しよう。～Let's enjoy 修学旅行」としました。

修学旅行に向けての14の実行委員会が編成され、子どもたち一人ひとりが希望したものに所属し、活動しました。しおりについてもしおり実行委員会が中心となって、各実行委員会が分担されたところの企画を考え、作成して完成させました。そして、当日はそれぞれの実行委員会が企画したことを取り組んでいました。自分たちが決めた自分たちの修学旅行を成功させようという気持ちが表っていました。

日光東照宮の見学では、学びが深まるように東照宮クイズを事前に作り、しおりに貼ってあるので、グループで共有し合いながら、眠り猫の彫刻を見たり、陽明門の模様を確認したりしながら、答えを見つけていました。ホテルでも見学地でも、グループでの活動でも、時間を意識しながら楽しむ姿が印象的でした。また、1日目の夜の室長会議で先生から夕食会場での靴やスリッパの並べ方で気をつけるようにと言われたことが、翌日の朝食会場前の靴やスリッパがきれいに並んでいて、すぐに改善できていることに感心しました。さらに、2日目の昼食。カレーライスを食べ終わり、私が、同じテーブルの食器等を集め、重ねていると一人の男の子が「重ねた方がいいです？みんなにも知らせます。」と言って大きな声で呼びかけていました。機転が利く姿、そして、呼びかけを聞いた周りの子どもたちがすぐに動く姿、中には自分のところ以外の場所もきれいに片付けている姿にも感心しました。

24日に行っていた振り返りでは、「自分たちで1から計画することの大変さを知りました」「お金の使い方や時間の使い方を学びました」「できるようになったことは、班で活動することで班の人を気遣い、班の人に意見を聞くことです」「礼儀や感謝の気持ちの大切さを実感しました」など実体験を通しての想いや、「学んだことや付けた力は修学旅行だけでなく、学校でも付けた力を使えるようにしたいです」という次につながる想いも挙げられていました。

これから、振り返りを生かし、一段階パワーアップした最高学年として、大野北小での今後の活躍を期待するばかりです。



見守り隊紹介の集会と総会



5月22日の集会で、見守り隊の方を紹介する集会がありました。見守り隊の方々から、「あいさつで元気をもらっている」「笑顔でおはようと言ってくれるのが励みになっている」「帰りにも元気にあいさつをしてくれます」などのお褒めの言葉をいただきました。そのあとの総会では、班長さんがつけている蛍光テープは班の切れ目がわかりやすく、好評でした。ただ、下校時の子どもたちの歩き方や放課後の自転車の乗り方が話題になりました。

ご家庭でも通学路の確認や信号のない横断歩道の渡り方、自転車の乗り方（交通ルール）など話していましただけだと助かります。